

足利工業大学 正会員 藤 島 博 英

足利工業大学 正会員 中 川 三 朗

足利工業大学 正会員 為 国 孝 敏

1. はじめに

わが国の高度成長期において、多くの地方都市では、工業団地の造成等が積極的に行われた。しかし、産業構造の変化とともに、工業団地の中には、撤退するケースが見られるようになった。そのため、大規模な工業用地を他用途に転換するケースが見られるようになった。このような工業用地は交通の利便性が高いため、大規模小売店舗等の商業施設等が多く進出するようになった。

本研究では、このような状況が見られる足利市のトリコット工業団地を対象として、土地利用の変化が周辺地域へどのような影響を及ぼしているか把握することを目的とした。

2. 足利のトリコット工業団地計画

足利は、江戸時代中期から絹織物の産地として成長し、戦後、トリコット工業が主要な産業として発展したが、いろいろな立地上の問題で行き詰まりをみせていた。そこで、トリコット業者の集団移転が考えられ、昭和35年に足利トリコット工業協同組合を中心に、工業団地造成(総面積約263,000㎡)が行われ完成した。昭和41年に生産高日本一となったが、昭和46年のドルショック、昭和48のオイルショックや繊維産業の構造的不況等により急速に衰退していった。

3. 工業団地周辺地域の変容

(1) 対象地域

トリコット工業団地(以下、トリコット団地とする)は市の中央を流れる渡良瀬川の南に位置し、東武鉄道伊勢崎線、主要地方道足利千代田線、足利環状線に囲まれる地域にある。工業団地の中央を南北方向に国道293号線が通る。対象地域はこの工業団地がある八幡町、田中町、朝倉町を含む山辺地区とその周辺地域とする。

(2) 山辺地区の工業と商業の推移

図-1に山辺地域の工業の推移、図-2に商業の推移を示す。商店数・年間販売額は年々増加傾向にあるが、それとは逆に製造業事業所数は昭和55年以降急激に減少している。また、製造品出荷額は昭和60年までは増加しているが、平成2年以降減少している。これらより、この地域は工業地区から商業地区に年々移行していることがわかる。

(3) 人口の推移

図-3に山辺地区とその周辺地域の人口増減率を示す。この図より、トリコット団地周辺の堀込町・中

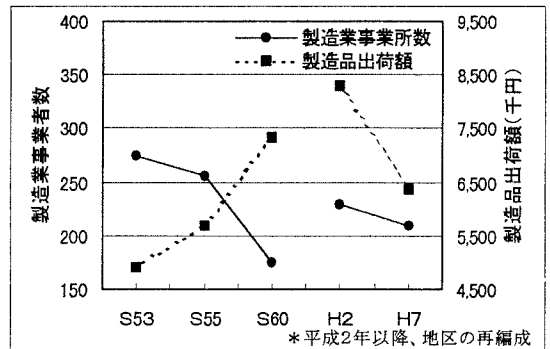


図-1 山辺地区の工業の推移

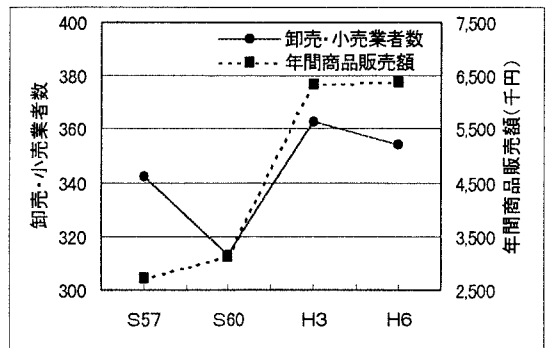


図-2 山辺地区の商業の推移

キーワード：土地利用, 地域分析, 工業団地, 商業立地, 足利市

連絡先：〒326-8558 栃木県足利市大前町268-1, TEL0284-62-0605, Fax0284-64-1061

川町・南大町の人口が急激に増加している。それとは逆に、トリコット団地のある八幡町・田中町・朝倉町は、横ばいか減少傾向にある。山辺地区全体で見ると昭和40年から昭和60年までは減少していたが、平成2年以降は増加傾向にある。これらのことは、この地域でドーナツ化現象が起きていると思われる。

（４）公共施設・金融機関及び大型小売店の進出状況

表－１に対象地域に進出している公共施設・金融機関及び大型小売店の開設年を示す。この表より、昭和52年以降、多くの施設が進出していることがわかる。特に、トリコット団地内に開設した大型小売店舗が核となり、周辺地域に公共施設や金融機関を進出させていると思われる。

（５）交通量の変化

トリコット団地の南にある朝倉町2丁目交差点の平日12時間交通量を図-4に示す。昭和50年には朝夕の時間帯より昼間の交通量が多くなっているが、昭和55年以降、夕方の時間帯に近づくにつれて交通量が多くなってきており、特に、平成7年には16時から19時の3時間に他の時間帯より1000台以上増加している。

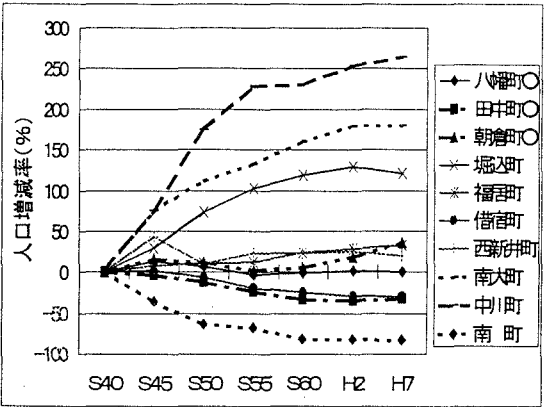
また、トリコット団地内を通過する国道293号線の12時間交通量(平成9年)を

平日と休日で比較した結果、平日は、1時間あたり750台から1000台程度であったが、休日は、10時以降1000台を超える交通量であった。これらのことは、この地区にある商業施設利用のための交通量と考えられる。

4. まとめ

工業団地の跡地利用は、土地利用空間に比較的余裕があるため、大規模商業施設が集まる新たな商業中心地域に変容が可能となる。特に、トリコット団地は市の中心部に近く、国道沿いにあり、自動車交通の利便性が良いこともあって、大規模商業施設が相次いで進

出し、ミクロな土地利用の変化の影響が、周辺地域の人口や道路交通に発生していることが推察された。また、今後の課題として、道路交通や人口以外への影響を明確にし、地域の変容を分析する必要がある。

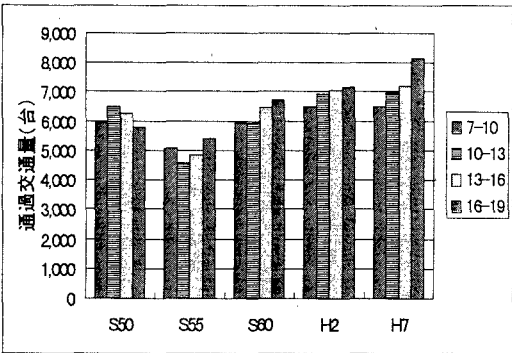


図－３ トリコット団地周辺の人口増減率

表－１ 公共施設・金融機関及び大型小売店の進出状況

開設年	公 共 施 設	金 融 機 関	大 規 模 小 売 店 舗
S40年		足利信用金庫八幡支店	
S46年			家具の宝船足利店
S52年	足利市公設地方卸売市場	足利銀行足利市場支店 (現足利市場出張所)	ホームセンタータントム足利店
S53年			ビッグジョイ足利南店
S55年		足利銀行足利南支店 足利信用金庫南支店	イトーヨーカドー足利店
S56年	足利市市民プラザ		カインズホーム足利店
S58年		栃木銀行足利南支店	
S59年			足利ステーションビル
S60年			コムファーストショッピングセンター
S61年	足利市商工会議所本部事務所 栃木県南地域地場産業振興センター	東和銀行足利南支店 群馬銀行足利南支店 労働金庫足利南支店	
S62年			
H2年		桐生信用金庫堀込支店	島忠家具ホームセンター
H4年			家具のイノ
H5年		足利銀行足利南支店 (八幡出張所)	ゼビオ足利店 コナカ足利店
H6年			アベスポーツ
H7年			ニトリ足利店
H9年			ゴジマNEW足利

* 表中の網掛け部分はトリコット団地内及び隣接地に開設した施設



図－４ 朝倉2丁目交差点交通量